

4000 名山記 2012年

10/20(土) 鈴鹿 1 山「野登山」9:15~12:00(2:45)晴れ小岐須溪谷一の谷コースより往復。沢沿いの道を進み、途中道を間違え別の尾根へ。沢筋に戻り、ゆっくり進むと急坂を経て尾根に出て淡々と進むと国見広場ですぐ樹林の中の二等三角点の山頂。日差しを楽しみ下山し鎌ヶ岳のやまゆき会の例会に 30 分遅れで参加。翌日入道ヶ岳でヘリの救急救出に立会う。

10/27,28 静岡北部 4 山 10/27(土)晴れ「朝日岳」6:25~12:25(6:00)寸又峡駐車場より遊歩道・細長い猿並橋の吊り橋を渡った登山口より往復。植林地・林道を経て細尾根・ガレ場・トラバースを経て合地ボツ。尾根伝いに 2 カ所の展望地を経て急坂を上り、(栗山沢の頭)を経て三角点のある山頂。大無間・前黒法師等が樹林の間から眺められた。来た道に戻り、下りに 4 人に合っただけで静かな山。吊り橋渡りを楽しむ。「沢口山」12:55~16:30(3:35)駐車場に一旦戻り忘れたライトをリュックに入れて出発。観光案内で登山口を確認すると 8 日前に入った女性が行方不明で捜索にヘリや山岳関係者 100 人が入山中。とりあえず山頂までと日向コースを往復。植林地・急な崖を横目に尾根を進み、分岐の富士見平には、捜索隊の静岡山岳関係者テントが幾つかあり。樹林の少し薄暗い中を淡々と歩き二等三角点の山頂。曇りで視界なく残念。捜索隊がいて落ち着かず、来た道を駆け足で戻る。道迷いしそうな山。10/28(日)曇り「板取山」5:30~7:45(2:15)(山犬段)より整備されたコンクリート道を進み、(八丁段)で朝焼けを拝み、ホーキ薙の大崩壊地の修復現場を経てなだらかな山を進むと山頂。南アルプスの山々の眺め良い。雲が少ないととってもよいのだが。来た道を天気を気にしながら戻る。紅葉の赤が見頃。「大札山」8:10~9:15(1:05)肩登山口より急坂を木々・紅葉を楽しみながら往復。山頂からの山並みの眺め良いが、山全体の紅葉はまだ先。天候悪化するため、ここで今回は終了

11/3,4 静岡北部 3 山晴れ 11/3(土)「房小山」山頂 12:55「バラ谷の頭」同 14:10 8:30~18:20(9:50)山犬段より林道を歩き、高塚山の登山口より尾根に出て分岐より鋸山尾根を進み、千石沢口からの合流点より急坂を登ると(千石平)。先行登山者と山情報交換。尾根伝いに進むと(鋸山)。幾つもの山を越え、笹道を掻き分けて房小山山頂。好天気で道迷い少なく、三角点、展望・風等を楽しむ。日暮れを意識し昼食後すぐ先に進む。3 つ目の山が目的地と確認し、笹の獣道等を進み、なだらかなバラ谷山山頂。日本最南の 2000mと案内板あり。陽光・南アルプスの山並を楽しみ、尾根道に戻る。千石沢分岐で日没。荒れた沢を急ぎつつ慎重に下り、林道南赤石線に出て安堵。あとは淡々と林道を歩き、行きより早く戻る。11/4(日)「前黒法師山」5:55~13:15(7:20)寸又峡より温泉地を過ぎ、夢の吊橋、エメラルドグリーンの川面を楽しみ、登山口へ。急坂のつづら折れの道を進み林道を経てさらに杉・ヒノキの植林地を過ぎると(白ガレの頭)さらに登っていくと展望地あり、南アルプス南部の山並みを楽しみ、さらに進むと初めて登山者に会い、いい山なのに頂上から南アの展望がないことを残念がり、山情報交換。空腹と昨日からの疲れでバテバテながら山頂へ。樹林の中、三角点ある平らな山頂。樹間より南アを探る。好天で久しぶりにゆっくりの昼食で体力回復。下りは歩きやすいところは駆け足で一気に下る。飛龍橋より観光客と行き違いながら戻る。2日間とも好天で気持ちよい山歩き。

11/10,11 静岡北部 6 山 11/10(土)晴れ「無双連山」9:30~10:25(0:55)無双連林道を地元の人に教えてもらい、徳山城跡の遺構の尾根を進み反射板過ぎると山頂。三角点あり、樹林の中の静かな丘。(本城山)を経て下山。近くの三角点のある(高山)に寄る。「智者山」山頂 12:45「天狗石山」同 13:20「七ツ峰」同 15:10 12:00~17:20(5:20)智者山神社登山口より長駆往復。神社を経て、植林地・林道・植林の尾根急坂コ

ースを進み、平らな智者山山頂。西側の日当たり良好、展望良い。樹林の山頂。尾根伝いに道を確認しながら進み、天狗石を経て同山頂。数パーティと合う。平らな樹林の中に三角点。さらに足を延ばし尾根伝いに幾山越え、樹林の中の(益田山)を経て、聳える七つ峰へ。急坂を上ると二等三角点の山頂で、富士・南ア等山々の眺めを楽しむ。遅い昼食後、日没を意識して駆け足で尾根を戻り、智者山で日没。薄暮の中登山口に無事戻る。天気良く心地良い山行。11/10(日)曇り「大日山(峠)」5:30~6:15(0:45)大日駐車場より遊歩道沿いに往復。樹林の中の三角点。朝焼けキレイ。途中三角点のある(勘行峰)に寄り展望台から南アの山々の眺めを楽しむ。「笹山」7:25~8:00(0:35)登山口より笹の道を進むとすぐ三角点の山頂。富士等の眺め・静けさを楽しみ戻る。近くの(井川峠)を散策し天気の良いため、今回はここで打ち止め。

11/18(日)山梨東部1山晴れ「飛龍山」10:05~16:45(6:40)丹波道の駅出発。小学校の脇より入る。植林地を経て広葉樹の森をトラバースしカラ松の尾根に出て分岐から少し行くと二等三角点の(丹波天平)。尾根伝いにサワウラ峠を経て三角点のある(熊倉山)さらに急坂を登ると(前飛龍)、雲取への縦走路分岐を経て直進すると飛龍山山頂。三角点あり、富士山等眺め良く陽光心地よい中、遅めの食事。遅いスタートのため、日没を気にして下りは一気に尾根道を早足で戻り、「のめこい湯」でひと汗流す。

11/22~25 静岡北部6山 11/22(木)休暇晴れ「黒沢山」7:20~15:00(7:40)奈良代林道口より往復。テープを目安に山入り。樹林の中の(奈良代山)から林道を横切り尾根を進むと(奥布山)の御料局三角点。裸の樹林内で陽光心地よい。さらに尾根伝いに進むとシャウジ山(栢生山)で平らな三角点の広場。さてここからが本日のメイン。薬剤散布の案内あり、タオルで口を覆いつつ、迷路のような笹原を遠回りしながら、倒木に注意してゆっくり進む。視界良く山を確認するが、笹の急坂を道を探しつつ、雪でズボンを蒸らしながらも尾根へ。合羽を履き人心地。尾根を進むと念願の黒沢山山頂。樹林の中から南アの山を眺め、昼食。冬型の天気ですぐ来た道に戻る。思った程の藪に会わず助かった。11/23(金)曇り一時小雨「常光寺山」6:20~8:15(1:55)施設の駐車場より往復。雨が止んだところを急ぎ足で2つの山を越え山頂へ。三角点あり、山々の展望良く、駐車場も見えるハイコース。下りに雨に会う。「竜頭山」9:10~9:55(0:45)直下の駐車場(天竜スーパー林道沿い)より遊歩道等横切り山頂。二等三角点で展望台より南アの山々を確認。「京丸山」11:45~16:20(4:35)林道ゲートより下側の林道を進むと登山口。少し登ると過去の伐採の遺産跡がそのまま残る。少し登ると祠あり、立派な姫娑羅のみちがを山頂直下まで続き軽快に進む。一息入れ急坂を上るとブナ林が見事な三角点と展望の良い山頂。先の山を目指したが、はるか遠くのため断念し、紅葉を楽しみながら下山。第一部。

第2部「伝説のハイカー」誕生。

静岡北部 11/24~25(日)「大根沢山」山頂 11:00「信濃俣」同 15:40 6:05~翌日 8:25(26:20)歩行時間約24:00)晴れ畑薙第一ダム脇林道より尾根伝いに往復。山行中に自称「伝説のハイカー」(初めての山塊で正式な登山道ない長距離の山を日帰り往復できた)を意識し入り口確認し入山。先人の道とテープを頼りに、急坂を一気に上り、前日泊の若い重装備の山人に会い道等を教えてもらう。尾根を進むと樹林の中の三角点。さらに進むと目標の山が見え淡々と進む。積雪があり、スパイク付きの長靴が大正解。大根沢の山頂は、三角点・シラビソの樹林の中。一息入れようとしていたら賑やかな団体の到着。登山口であった方達7人のパーティーで近くの山の話を知ってもらおうと地元静岡の主のような人々。藪等気にしない人々でルートは沢山あるとのすごい自信に脱帽。次の信濃俣の情報等を教えてもらい出発。案の定降り口で枝尾根に降り急斜面を危険なトラバースして何とか尾根続きへ。やせ尾根等あり、ゆっくり尾根伝いに進む。信濃俣と思った山が(カバ沢の頭)で時間的に厳しいので、寝袋等をデポし先を急ぐ。急斜面を登ると(樫沢

山)で雪が深く・硬くなる。さらに進むと南アルプス最深部の信濃俣山頂。二等三角点で南アの展望良い。食事し急いで戻る。荷物デポしたカバ沢の頭に日没に到着。荷物を整理しライトを準備し尾根筋に戻る。樹林の鬱蒼としたところはライトをつけ、開けたところは月明かりのムーンライト歩行。何とか順調に大根沢下まで辿り着くが、ここからは体力が限界で、標高差 400mの登り返し。少し登っては、荒い呼吸を整える状態。何とか山頂付近に辿り着くが、雪の世界でテープも良く見えず、方向を失い往生。偶然大根沢山頂の三角点に会い方向を確認し下山。雪の踏み跡を辿るが、時々迷う。磁石等で方向を確認しつつ進むが、尾根の大倒木地帯で方向感覚を失いまた迷う。それでも何とか来た時に出会った三角点に 22:15 辿り着く。順調に下山できるかと思っただが、ここからクライムハイの始まり。下りの方向は良いのだが、来た時と違う風景。あちこち斜面をテープ・道を探すが見つからず、最後は一気に下まで降りようかと下るが、急斜面で無理。明かりを消し近くの山々を眺め、方向が違いと確認。やむなくまた標高差 400mの登り返しで、荒れた呼吸を整えつつ、月明かりを頼みに一旦来た道に戻るとまた偶然三角点に出会い、11/25 2:50 寝袋・ツェルトで就寝。5:10 起床し薄明かりの中 5:40 出発。明るくなり、昨日登って来たルートを確認でき、テープ等便りに下山ルートへ戻る。途中急斜面に出て引き返すこともあったが、順調に下山。先人のルート作りとテープと好天に感謝。ここに自称「伝説のハイカー」誕生としよう。道迷いで日帰りとはならなかったが・・・。

12/1(土) 京都 1 山「鞍馬山」曇り 7:05～10:35(3:30)鞍馬駅より往復。鞍馬寺奥の院まで行き、尾根に戻り、義経背比べ石より尾根伝いに池、経塚を過ぎ山頂らしきところを通過し先の林道を経て小高い無名の山で引き返し。名板はないが標高から山頂と確認し下山。朝は静かだったが、駅に戻ると観光客・ハイカーも多い。午後例会でお話するため今日はここまで 12/2(日)奥多摩 3 山晴れ「本仁田山」山頂 11:00「川乗山」同 12:30「蕎麦粒山」同 14:15 鳩ノ巣駅より古里駅まで長駆・縦走・周回 9:10～17:45(8:35)案内表示に従い、急斜面を進み、尾根を経て、ハイカーが多い中、分岐の(コブタカ山)より本仁田山往復。山頂は、三角点あり、富士山等眺望よし。分岐に戻り大タワから急斜面の岩を楽しみ、尾根筋に進むと川乗山頂。三角点あり、山々の眺めよい広場で、大勢の登山客あり。昼食後別の尾根筋を下山しようとしたら、蕎麦粒が起伏少なくなだらかに続いており、足を延ばす。なだらかな尾根を急ぎ足で進み、(日向沢の峰)を過ぎ、急坂を上ると蕎麦粒山頂。三角点あり展望楽しむ。下りは別尾根を回り、(エビ小屋山、赤久奈山)を経て日没。ライト付けて到着。

12/8(土) 奥多摩 2 山晴れ 10:25～18:00(7:35)「鷹ノ巣山」山頂 12:55「七ツ石山」同 14:50 日原鍾乳洞臨時駐車場より長駆縦走往復。清流の橋を渡り谷沿いに行き、稲村岩で岩峰を楽しみ、落葉の尾根をゆっくり進む。雪が残る北斜面の坂を登ると鷹ノ巣山頂。三角点・雲を抱く富士等の展望、陽光を楽しみながら昼食。広場で登山者多いが冬型で風強く、すぐ尾根筋を前へ。(日陰名栗峰、高丸山)を経て千本つつじで方向転換し七ツ石山頂。三角点・神社あり、展望も日差しも最高で雲取が間近。来た道を急ぎ足で引き返す。巻き道利用し急ぐ。鷹ノ巣の下りの雪道は転ばないよう慎重に歩き、稲村岩分岐から急斜面のため、道を確認しつつゆっくり下る。沢近くでライトを点け道を確認しながら、沢筋を進み駐車場へ戻る。風邪気味のため、今回は打ち止め。明日冬タイヤへの交換で久しぶりの休養。

12/15、16 静岡北 2 山 12/15(土)雨のち曇り「二王山」15:10～17:25(2:15)湯の森口より往復。雨のやむのを待って遅い出発。急ぎ足で植林地の尾根を進み、明るいうちに山頂。北側の展望良い。三角点に移動すると西側の展望良い。日没迫り急ぎ足で下山。急斜面はライト点けゆっくり下る。12/16(日)晴れ「小河内山」5:40～13:50(8:10)笹山登山口より林道通行止めのため、林道を歩き、牛首峠より尾根に登り、(奥笹山、猪の段)を経て山伏山頂。朝日が心地よく、富士山、南ア等の展望良し。大笹峠へ下り、尾根伝いに

幾山越えると、三角点のある山頂。日差しあり、展望良し。膝位までの雪に苦勞。尾根分岐まで進み先に道があり、いつ行けるか疑わしい青笹山の眺望とルートを確認して下山。今回は天気良く雪の少なさに助けられた。

12/22(土)～24(月)6山、12/22 雨伊豆七島「御山」6:20～11:30(5:10)御蔵島港より薄暗い小雨の中進み、鳥の尾から整備された登山口を経て湿原を過ぎ平坦な道を進む。滑りやすい木道の急斜面を登り、尾根沿いに進むと山頂。二等三角点、笹原の尾根で雲・風・雨で視界なく残念。さらに尾根伝いに進み(長滝山)では強風と大雨ですぐ退散。帰り道は小川状態で靴から全てずぶ濡れ。拳句に海には白波が立ち、帰りのフェリーは欠航の放送。日帰り予定が大誤算。役場・フェリー待合・交番でお世話になる。宿泊のない人の入島禁止・ガイドのない登山は禁止の指導を受ける。帰る手段を教えてください、ヘリのキャンセル待ちが偶然とれ、お世話になった警官に見送られながら離島。八丈島から最終便のキャンセル待ちも取れ奇跡的戻ってお世話になった皆様に大感謝。

12/23 晴れ山梨東部 3 山「お坊山」山頂 10:35「笹子雁ガ腹摺山」同 11:45「滝子山」同 15:35 8:40～17:05(8:25)景德院下の駐車場より大鹿峠へ。尾根伝いに進みお坊山頂。展望良い。さらに尾根を進み(米沢山)を経て鞍部より登り帰すと腹摺山頂。富士山等の眺め良い。昼食後お坊より(東峰)を経て大鹿峠さらに尾根を進み、(大鹿山、オッ立山)を経て平坦な山道のため先に進み、雪の斜面を登ると滝子山頂。富士等の眺望抜群。来た道に戻り途中ショートカットし、薄暮に戻る。12/24 晴れ山梨北部 2 山「八幡山」7:05～9:40(2:35)神社脇より尾根を進み縦走道に出会い、山を確認して尾根を進み山頂。樹林の中三角点、富士等眺めあり。尾根伝いに(金光山、城山)を経由して戻る。首岩等岩が楽しめる山。「帯那山」10:05～13:55(3:50)林道と市道分岐より尾根伝いに進み、三角点のある(見越山)を経て林道より開けた丘に登り少し進むと樹林の中、二等三角点の帯那山頂。雪と陽光楽しみ楽勝で下山。ところが、道間違いで舗道へ出たが方向不明で下ったが、おかしいと感じ尾根に上り、尾根筋を進み、三角点(阿梨山)から塔のあるところまで戻り再度下ると同じ舗道へ出る。市道を上へ進むと何とか無事駐車場着。高度と方向確認漏れが生んだ道間違いで1時間以上ロス。幸い好天に助けられゆとりで戻れた。

12/29(土)曇り南ア最南部 2 山「岩岳山」山頂 13:15「竜馬ヶ岳」同 14:30 10:20～18:10(7:50)林道崩壊が多く、車は入れないため止む無く杉川林道の通行止めより入る。標示等何もなく、川・沢等確認しながら、林道支線終点より、目印のテープ等に勇気づけられながら植林地の急斜面を獣道等頼りに登り、林業の作業道に出て後を辿り、細いトラバース等慎重に進みさらに標高を稼ぐうちテープに再開すると間もなく岩岳山頂。三角点・椅子・テーブルあり、反対側からは一般的なルートの様子。雲で視界乏しい。尾根伝いに神社を経てなだらかな斜面を登ると待望の竜馬ヶ岳山頂。京丸より見た奥深いなだらかな山頂に立て大満足。樹林の中、残雪は溶け始める暖かさ。下りは、尾根伝いに岩岳に戻り、テープ頼りに作業道を一気に下るも、途中から間違え道失い止む無く降りれる沢を目安に一旦下るも沢は下れず、来た方向へ上り返し沢へ下り少し沢沿いに歩くが、下れず上り返して展望の利くところで標高と方向を確認し作業道らしきところを下る。途中メガネを飛ばしライトをつけ探すいつまで探すか不安になり掛けたところ見付き、状況を確認後急斜面を下る。下に道らしき線が見える急斜面で立ち往生。止む無く小立ち木頼りに下りるが足が宙ぶらりんに。杖を上へ一旦置くが下までの距離を測るため下に落とすとすぐ道らしく、後は落ち着いて林道に降り、無事戻る。来た道を探して下るべきだったか。それでも道の不明な山行。12/30(日)雨のため偵察で1山は登山口を確認しさらに一度入った白倉林道終点まで入る。ただ、途中落石を車下部に当てブレーキが甘い。取りあえず通行止めまで行き戻りは、ゆっくりエンジンプレーキで水窪の街中まで何とか降りる。JAF に連絡とり、近くの整備工場を休みだが、明けてもらい点検。エア漏れ等見たが、下部のパイプ破断がわかり、

年未年始で車整備できるところなく、その整備工場に預け電車で帰宅。半月以上車利用不可、山歩きも行けるか未定。

12/31(日)一度行ったことを山頂を過ぎて気づいた浅間嶺へ電車・バスで行く。人里バス停より入り、上川乗バス停へ下る。11:40～16:05(4:25)晴れ人里峠より、尾根伝いに浅間嶺・入沢山で1度来たことを確認(反対側より登頂)。止む無く歩いていない反対方向の尾根歩き。(小岩浅間、ムケシノ頭、石宮ノ頭、三等三角点のある一本松山)の尾根を歩き下山。